

# 優勝の福岡は 970点ものハイスコアを記録

日整連、第20回全日本整備技能競技大会を開催



日本自動車整備振興会連合会（日整連）は10月10日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で第20回全国自動車整備技能競技大会を開催。前回に続き全53振興会が参加した。

競技は1年定期点検整備及び故障診断を行う「実車競技」（配点…700点）、点検整備に必要な一般的な技能を審査する「基礎競技」（同100点）、カーオーナーへの問診・応対・結果説明をロールプレイング形式で審査する「アドバイザー競技」（同200点）の3種目が実施された。各振興会は2人1組のチームを作り、カーオーナーに扮した審査員から問診され、ホンダN-BOXの1年定期



点検整備を実施しつつ、エンジン及びボデーの故障部位各4カ所を発見、納車説明するまでの技術力を、3競技合計90分間で競い合った。

なお今回より、3つの競技は個別ではなく一連の流れで行われ、各競技への時間配分は選手が自由に設定できるよう変更さ

れている。

競技の結果、福岡県自動車整備振興会が1000点満点まで残りわずか30点の970点という高得点で優勝。全体の平均点も778点と、非常にハイレベルな争いとなった。上位3チームの選手と得点は次の通り（カッコ内は会社名、敬称略）。

優勝…福岡Ⅱ谷口修平（藤壺自動車工業）、常岡兼次（西鉄エム・テック福岡工場）970点  
準優勝…岐阜Ⅱ浅野道昭（可児自動車整備協業組合）、丹羽慶一（同）951点  
第3位…島根Ⅱ田中賢（島根自動車整備工場）、小川和良（小川自動車）923点

また、今回は20回目の記念として、北見、岩手、栃木、東京、千葉、愛知、広島、福岡の各整備振興会へ「特別功労賞」が授与されている。



優勝した福岡代表の谷口修平選手（中央）、常岡兼次選手（左）